

# 鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第8号  
発行 2005年5月16日  
発行者 中村 晃

## 奈良の風景 (1)

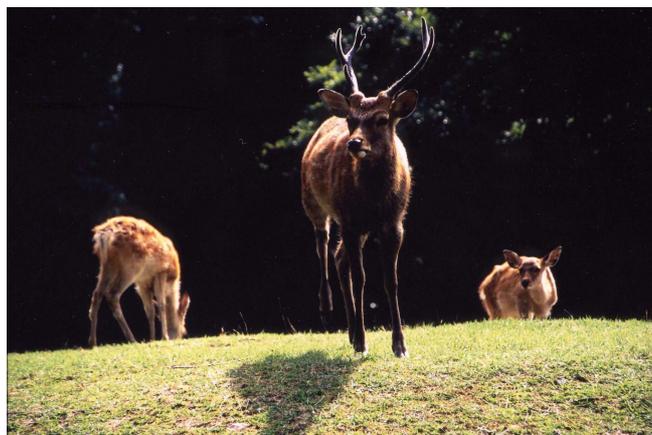
石原 晋一郎



雨の石舞台(飛鳥)の桜



奈良追分の梅林(日の出前)



なら公園の牡鹿

## 私の思い出日記 (4)

江 崎 昭 三

### 【平成2年12月】

空気・水のよい故郷山口にUターンし、エヌジェイエフ山口営業所として我家を拠点に中・四国・九州地区に車えび用飼料の販売をおこなった。

今では“しまなみ街道”で尾道から四国今治まで橋で繋がっているが、橋に関係のない瀬戸内の島々にはフェリーや高速船で島伝いに渡り・養殖場を訪れた。

また、島の民宿に泊りながら、“小柳ルミ子・瀬戸の花嫁”の「瀬戸は日暮れて夕波小波」を味わったものだ。

### 【平成3年11月】

我家は小高い岡の上にあり坂道が多く、63才で中国地区のAT車限定免許第1号になり、新聞・テレビのニュースで報道され恥ずかしい思いをした。

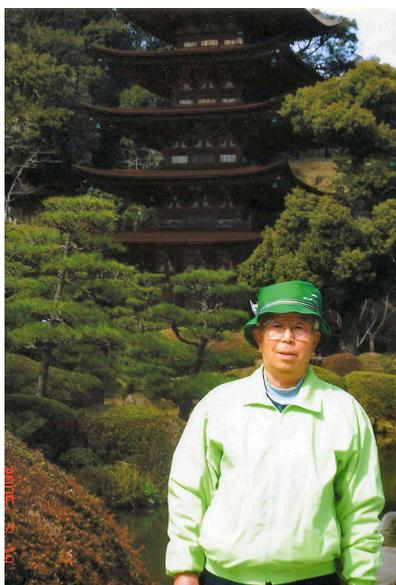
それ以来、九州天草等の養殖場は慣れぬ道をレンタカーで走り回った。

### 【平成5年】

又、浦島太郎では無いか長年故郷を離れたギャップを取戻し地域社会に溶け込む為、大阪での自治会長の経験もあり、平成5年から4年間開発途上の約400戸の区長を勤め、町役場の方々や地域の方々とも交流ができるようになった。

65才で会社も退職、サンデー毎日（毎日が日曜日）になり現在に至っている。

一方、室町時代には西国一の大大名、西の京山口に栄華を極めた大内氏、関が原の戦いに破れ防長二州に閉じ込められた毛利氏や明治維新と山口県の歴史と文化を勉強した。



そして、カメラ片手に探訪をしながら、知り得た知識を社会に還元すべく山口市で観光ボランティアガイドに参加し、春から秋まで土・日・祝日にガイドを初めて13年目になる。

全国各地から幅広い地域の観光バスやグループの観光客の滞在時間に合わせ、山口の歴史や建造物等の説明をし、又カメラのシャッターをきってあげたり、観光客の地域の方

を交えて、その地域の最近の様子等を聞いたりしながら楽しく時間を過ごし、喜ばれながら快い疲れで一日が終わる今日この頃である。

### 【平成12年】

又、平成12年4月から2年間町史編纂委員となり、町の歴史を詳しく知ることが出来た。

### 【平成16年】

平成16年は猛暑・台風・中越地震・暮にはスマトラ沖の地震による津波等、大変な年であった。

最近では福岡県西方沖地震もあり、先ずは隣近所の助け合いが大事で、特に「向こう三軒両隣」とは日頃から仲良くし、我々会社OBも一市民となったら会社勤務時代に得た知識・経験を生かし社会の一員として地域社会に貢献すべきだと思います。

【私の思いで日記も今回で終了いたします。  
ありがとうございました】

会員の広場

筑前黒崎宿場祭りに黒田二十四騎の一人として参加



上野 與志隆 (北九州在住)

長崎街道と黒崎宿

私の住んでいる北九州の黒崎の町は特に江戸時代、長崎街道東端の宿として栄えたところだ。

長崎街道は徳川幕府の元和元年(1615)武家諸法度で大名の参勤交代が義務付けられ交通の整備が本格化すると、まず五街道がつくられ、脇街道として山陽道や長崎街道などの十街道が次々と開通していきました。

この長崎街道は、小倉から黒崎・木屋瀬を経て、鎖国下で唯一外国に開かれた港長崎に至る重要な道で幕府の献上品として異国の物産や文化を運ぶ華やかな街道でした。

黒崎はこの長崎街道の東端豊前小倉の宿に続く宿場町として福岡黒田藩の小倉小笠原藩との境界付近にありました。また筑前黒田藩唯一の上りへの渡海船が発着する港としての黒崎湊を有し、大名や多くの旅人が利用しました。

米や蠟、鶏卵その他筑前の特産物など物資の積出港としても栄えたところでした。また、黒田長政は隣接する豊前小笠原藩が徳川譜代であったため、その境となる宿場町黒崎には防衛の意味でも藩の重鎮家臣の井上周防之房を黒崎城の城主として配置し、この黒崎の街を大事にしました。

家臣の井上周防も主君想いの名将と言われ良く仕えてきました。井上は長政亡き後、寛永九年(1632)黒田騒動の折、藩主忠之の開運を願い、近くの春日神社に藩祖長政の霊を祀り、春日神社・黒田神社として大事にしてきました。

また孝高(官兵衛)に仕え、長政を支えてきた功臣二十四人の霊も併せ「黒田二十四騎神」として祀られてきました。その中には黒田孝高の兄弟や後藤又兵衛、黒田武士で有名な毛利但馬(母里太兵衛)が含まれています。

筑前黒崎宿場祭り

『宿場祭り』は長崎街道の筑前六宿の一つとしての黒崎を振り返り、祭りで地域おこしを平成元年から始まった新しい祭りで、毎年十月の第一土曜、日曜日に開催されます。

「江戸の風情の漂う松並木一帯で行われる黒田二十四騎を再現した武者行列は、勇壮で華麗な一大絵巻のようで、江戸時代を蘇らせてくれます」と主催者である区役所の町おこし推進課は宣伝しています。

どうして私が

たまたま、私が春日神社の総代をしておりましたので、黒田二十四騎保存会の会長(春日神社責任役員の方)からは是非にと依頼されました。

はじめは乗り気ではなかったのですが、八幡西区長、黒崎駅長、郵便局長、消防署責任者の方々も熱心に参加されているのに霊神を祭っている神社の総代が出ないわけにはいかないと思い、俳優になることを決心しました。

役は黒崎城の城主、井上周防之房で、扇子を持って踊らなくてはならず練習に苦労しました。

身に着ける鎧兜は本物の通りに作ってあるため、十四〜十五kgと重く、しかも衣服も昔の武者の装いになり、

身動きのとり難い服装でありました。昔の武士はよくもまあこんな重いものを身にまとい戦場に行ったものだなどと感心した次第です。

昨年は北九州市の八幡西区制三十周年にあたり、十月一〜三日は寂れたこの黒崎の町も賑やかなお祭り一色となりました。特に私が出演した三日(日曜)は天気が良く、暑くて汗びっしょりの熱演をしました。出演してみても、また出演する気になっていきます。

鐘華会九州支部の皆さんも、今年の「黒崎宿場祭り」を見に来てください。



## 九州カネカ食品(株)訪問と九鐘会との懇親

3月4日(金)15:00より佐賀県鳥栖市の九州カネカ食品(株)にお邪魔して職場訪問を実施しました。

はじめに会議室にて、網干社長他幹部の方々より「現状及び今後」についての説明があり、2年後の年商100億円達成を目指しての日頃の奮闘ぶりを伺うことが出来ました。

現在、売上高にカネカ品の占める比率は約3割と少なく、この比率を高めつつ目標達成に邁進されていることがお話の中心だったと思います。

新商品開発や拡販のための技術指導やサービスにも多大の力を注がれていることが良くわかるようにアイテムごとに説明や、それらを研究し顧客に見せ指導するための設備も見学させていただきました。

とにかくアイテム数の多さにびっくりしたり、感心したりすると同時に「これだけの数があれば近々の目標達成も楽勝じゃないか」との声が冷やかし半分にでるほどでありましたし、我々素人の感想でもあります。



場所をかえて九鐘会(九州におけるカネカ及び関係会社の現役幹部の会)との夜の懇親会場へ迎えるのバスで向かい、総勢18名の賑やかな会となりました。(鐘華会12名 九鐘会6名)

支部長挨拶と総会・定例役員会報告の中で、会長が交代されたこと、小額ながら年会費を徴収すること、支部の必要経費支給の完全実施など基本方針が確認されたことが述べられました。

当支部の会費未納者4名がたまたま全員出席者だったため、即刻取り立てとなりました。

その後は恒例にしたがい欠席者からのメッセージも含めた近況報告に移り、大いに飲んで食べて語り合いながら、時間いっぱい楽しい時を過ごすことができました。

そして、次回の集りへの参集を約して散会しましたが、現役との交流会は九州支部の恒例の行事として大事にしていきたいと思います。



青木 得志 記

## 【平成16年度 支部活動報告】

年	月	日	活 動 内 容
16	3	9	(鐘華会役員会)
	3	27	第2回ハイキング(基山・天拝山)
	4	21	第7回ゴルフコンペ(小郡CC)
	5	15	支部だより第6号発行
	5	22	第3回ハイキング(北九州の山)
	6	15	(鐘華会臨時役員会)
	7	15	(第51号鐘華ニュース)
	10	13	支部幹事会
	10	22	(鐘華会総会)
	11	12	小倉城と門司港レトロの旅・例会
	11	13	第8回ゴルフコンペ(瀬板の森GC)
	11	13	支部だより第7号発行
17	1	15	(第52号鐘華ニュース)
	3	4	支部幹事会・勉強会
	3	4	九鐘会との懇親会

## 【平成17年度 支部活動計画】

年	月	日	活 動 予 定
	5	16	支部だより第8号発行
	5	21	第9回ゴルフコンペ(小岱山C)
	6		第4回ハイキング
	7		(第53号鐘華ニュース)
	9		支部幹事会
	10		第5回ハイキング
	10		第10回ゴルフコンペ
	11		支部例会
	11		支部だより第9号発行
18	1		(第54号鐘華ニュース)
	2		幹事会・勉強会
	2		九鐘会との懇親会

(特記事項)

- 17.3.26 予定していた能古島へのハイキングは、地震のため中止しました。
- 17.5.21 第9回ゴルフコンペはカネカ現役とのはじめての合同コンペで楽しみです。
- 11月開催予定の今年度の支部例会は福岡近郊で場所を探しています。

## ＜平成17年度定例役員会報告＞

- ◆ 祝儀金について—喜寿・米寿・白寿などお祝いの種類に関係なく1万円に統一する。
- ◆ 平成16年支部活動報告並びに平成17年度支部活動計画
  - (高砂) 17年度の新たな活動としてグランドゴルフ同好会(57名)を発足させる。
  - (大阪) 活動拠点として単身赴任寮の一室を確保。
  - (滋賀) 社宅の空きがないため、活動拠点の開設は難しい。
  - (鹿島) 3月の幹事会で、今後の活動計画を決定。
  - (本社) 麻雀同好会の追加台の購入を検討する。通信費は、合同展及びカネカクラブ開設6周年記念展の案内状分を計上。
  - (東京) 支部例会の費用は会社と個人の折半で企画。
  - (九州) 支部だより発行の経費を通信費に計上。
- ◆ その他の事項
  - ① 高砂支部長交代の件  
現支部長吉田登氏→退任  
副支部長岸本一男氏→支部長  
田中義人氏→副支部長
  - ② ハイキング等の活動に関する免責事項の件—鐘華会はいかなる責任も負いかねるということを、案内状に明記する必要がある。
  - ③ 総会開催年の支部例会のあり方—遠隔地である鹿島・東京・九州の各支部については、支部例会の開催を可とする。

**あとがき** ・久しぶりに石原さんに奈良の写真を送ってもらいました。今回は春を中心に掲載します。次号は夏～秋バージョンです。お楽しみに！

・江崎さんの「思い出日記」は、今回で終了です。長い間ありがとうございました。定年後の生き方は示唆に富んだもので、地域社会とのかかわり方など大変参考になりました。

・上野さんの鎧兜姿は見事にきまっています。すっからはまった様ですネ。今年は皆で見に行きましょうか？